

<b>2月</b> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">例会</span> <b>山行報告書</b> 個人		報告者 松中、吉田、江頭 報告日 3月10日	参加メンバー A班江頭、金子 B班亀山、山田、天野、吉田 C班渡辺(勝)、三矢、松中、吉村、渡辺(育)、須藤さん
山域 奥美濃 山名 毘沙門岳・イトシロスキー場	山行日 08年2月22日(金)～07年2月24日(日)		
山行目的 雪上技術の向上	コースタイム(天候:天気図記号)		

配布先  
 集会:10  
 山行:1  
 リーダー  
 原紙:集会担当者

ルート図(地図を見て正確に)

2.5万分の1地図:石徹白[北西][南西]

毘沙門岳 1385M

2月22日(金)晴  
 19:00 N1駐車場発  
 21:30-22:30 民宿おしたにに着

2月24日(土)晴  
 < A・B班 > 毘沙門岳  
 06:30 起床  
 07:00 朝食  
 09:20 スキー場最上部発  
 10:30 休憩  
 11:15 折り返し  
 12:20 休憩  
 13:15 ゲレンデ着  
 < C班 > イトシロスキー場  
 09:00 ゲレンデ着  
 12:00-14:00 昼食・休憩  
 15:40 ゲレンデ発  
 16:00 民宿おしたにに着

18:00 夕飯/懇親会

2月24日(日)雪 晴  
 06:30 起床  
 07:00 朝食  
 < 悪天につき沈殿、その後天気快復 >  
 11:30 餅つき大会  
 13:00 現地解散  
 (渡辺(勝)、渡辺(育)、須藤さん ゲレンデスキー)

< 2/22 >  
 2月度例会である。22日は刈谷から亀山車と金子車、豊田発の渡辺車がお世話になる民宿「おしたに」さんへ向け出発し現地で合流。ご主人、女将さんとも全く変わらずのお元気に敬服する(江頭)。

< 2/23 A・B班 毘沙門岳 山行報告 >  
 初めてのワカン装着はとて時間もかかり、皆を待たせてしまった。スタートして30mほどして、息が上がる。。冬山ってずいぶん体力を使うのだなあ、と思った。15分ほど歩くと樹林帯の中へ。途中ポイントとなるところで、先頭の山田さんが赤いリボンを木に結び付けながら進む。雪は膝下まで埋もれるほど積もっていて、先頭を交代しながら進む。歩き始めて1時間もすると風が出てきた。前線が通過中のようだ。横風がどんどん強くなっていく。顔面に当たってくる雪が痛いっ! 体のバランスを崩しそうなほど風が強くなってきた。  
 11:15、ついに引き返すことになった。帰路は、近道できるルートを選んで帰ろうと探すも、それを見つけれず来た道を引き返した。行きにつけた赤いリボンのおかげで無事、ゲレンデに戻ることができた。(吉田)

< 2/23 C班 イトシロスキー場 >  
 A・B班と共に宿を出発、6名でゲレンデスキーを楽しむはずが、降りしきる雪が湿っぽく、4本滑っただけでびしょぬれに。こんな日は他に楽しみを・・・レストハウスで登山隊の検討を祈りながら乾杯、歓談に花が咲く。お昼前にひと滑りしてみると更に厳しい状況に。猛吹雪で足元が見えない。下からも風が吹き上げており滑りも悪い。  
 12:00ごろ、休憩もせずボードを練習していた吉村さんとレストハウスで合流、その後、A・B班も下山し皆で休憩した。ゲレンデより上は更にひどい強風だったようだが、雪山デビューの天野さん、吉田さんは生き生きとしていた。14:00ごろ風が弱まった。金子さん、江頭さんも加わり、1時間半ほど滑って宿に戻った。(松中)

< リーダー-所見 >  
 「民宿 おしたに」を利用した山行が昨年からの復活した。今年は、イトシロスキー場のリフト最終点から毘沙門岳をめざした。デンソー山岳部に於いて初めてのルートで興味もあった。ルートはブッシュが多く、山スキーには適さないが、スノーシューで歩くにはお勧めコースである。今回は暴風雪で頂上手前で断念したが、また、天気の良い日に登ってみたいコースである。  
 民宿のご夫妻はお元気でした。(金子)

確認 (亀山車) 08.03.11 亀山

確認 (金子車) 08.03.11 金子

作成 (報告者) 08.03.11 吉田 08.03.11 江頭



08.02.23 伊シロシャ-ロットスキー場から毘沙門岳を目指す、が



08.02.24 餅つき大会をやって戴く



08.02.24 皆で餅をつく

2008年2月23日(土)



	天気(9時)	最低気温	最高気温
札幌	にわか雪	-1.3℃	1.2℃
仙台	曇	-0.3℃	11.9℃
新潟	曇	1.7℃	9.1℃
東京	快晴	5.1℃	17.0℃
名古屋	快晴	5.1℃	11.9℃
大阪	晴	8.0℃	12.6℃
広島	快晴	7.8℃	11.1℃
高知	晴	6.6℃	15.6℃
福岡	晴	10.1℃	12.6℃
那覇	曇	18.9℃	21.4℃

▲ 最低気温は9時まで、最高気温は21時までのデータです。

## 『春一番 &amp; 北風の応酬』

22日21時に日本海西部で発生した低気圧が  
23日には急速に発達しながら夕方、津軽海峡付近に達した。  
中心気圧は22日21時からの24時間で28hPa低下。

関東南部は曇り過ぎて、低気圧に吹き込む南風が強まった。  
東京は午後2時に最大風速SW6m/s(最大瞬間風速は15.9m/s)、  
昨年より9日速、「春一番」、13.06℃は最高気温17℃を記録。  
ところがその後、にわかで空が曇り、風向きが北寄りになった。  
寒冷前線の通過に伴い、14.47℃はNW27.9m/sの突風、  
都心の街中は砂まこりやゴミが舞い上がり、  
一時は景色が黄色(茶色)っぽく灰色したほど。気温も急降下。

## ■日最大瞬間風速

三宅島WNWS2.5m/s(21:41)、深浦WSWS2.2m/s(17:05)  
白河NA32.0m/s(16:14)、八丈島WS2.0m/s(15:24)  
相川NW29.9m/s(20:37)、鏡子NW29.5m/s(22:15)  
八戸SSW29.2m/s(16:35)、松江WNW29.2m/s(10:30)  
瀬峰NW28.7m/s(16:51)、西郷W28.5m/s(09:19)  
東京NA27.9m/s(14:47)、仙台WNW27.5m/s(15:22)

## ■1時間降水量の日最大値

西表島17.3mm(07:40)、伊仙(鹿児島)14.3mm(02:30)  
伊良部(沖縄)13.3mm(07:10)、浦河11.3mm(20:00)2月1位  
小国(山形)11.3mm(12:40)、天城(鹿児島)11.3mm(01:40)  
与論島(鹿児島)11.3mm(04:50)、下地(沖縄)11.3mm(07:10)  
長万部(福島)10.3mm(15:50)2月1位  
矢島(秋田)10.3mm(13:00)2月1位

## ■日降水量

長万部(福島)41mm、黒松内(後志)39mm、  
安平(旭川)36mm、札幌35.5mm、  
厚真(旭川)32mm、五箇山(高山)31mm、  
小金湯(石狩)30mm、奥尻(樺太)29mmなど。

## ■24時間降雪量(23時の値)

音威子府(上川)43センチ、黒松内(後志)43センチ、  
小金湯(石狩)42センチ、寿都(後志)42センチ、  
恵庭島松(石狩)40センチ、歌登(宗谷)39センチなど。

上空寒気(500hPa)寒気の中心が中国東北部から南東部、  
夜遅くには-36℃以下の範囲が日本海北部から東北日本海側へ、  
21時500hPa気圧面は秋田-37.7℃、鶴島-36.3℃。  
21時頃は850hPa-12℃ラインが、本州日本海側にかかる。  
なお、12時の地上気温は東京13.9℃、大阪12.5℃、  
24時頃は東京0.9℃、大阪0.8℃まで下がり、  
屋外の暖かきまうそのよう。

■夕方発表された、暴風雪と高波及び大雪に関する全般気象情報、  
第3号では、北陸地方の24時間降雪量が多い所で100センチ、  
四国の瀬戸内側、本州の太平洋側でも積雪が予想された。

23日の大荒れ天気は各方面にも影響した。  
東北新幹線が一時全線で運行を見合わせ、  
東北、上越、長野新幹線の計26本が運休した。  
そのほか在来線や地下鉄も各地でストップ、混乱が続いた。  
都内ではブル作業現場の足場が崩壊し落下、  
国分寺市ではマンション工事現場のクレーンが傾いた。

最高気温 関東南部、東北部では、  
一時的に4月上～中並まで上昇。  
東京17.0℃、横浜15.9℃、銚子15.9℃、  
水戸15.3℃、仙台11.9℃など。  
ただし、東京では14:40～50の10分間で、  
13.6℃から8.7℃まで急降下。

東海、北陸西部、西日本は  
10～15℃まで上がるが、  
それでも前日より2～5℃低い。

最低気温 朝の気温は全国的に高め、  
3月中～4月中並み。  
松山10.1℃(平年差+8℃)  
高松8.4℃(同+7℃)  
広島、福岡は同+6℃、  
札幌、大宮は同+5℃、  
名古屋、高知、那覇は同+4℃。